

アクティブラーニング型プログラム 2026年概要書

■タイトル：

■南三陸SDGs アクティブラーニング④海洋ゴミ問題解決を探求する

海洋ゴミは長年解決できていない大きな環境問題ですが、昨今はゴミの中でウェイトを占めるプラスチックが特に問題となっています。

2050年には海の魚の量(重量ベース)を上回る海洋プラスチックゴミとなるというシミュレーションも報告されていて、喫緊に取り組むべき課題となっています。南三陸町の海岸もこの問題を抱えており、その解決策を現実問題として探っていきます。

■料 金：1名3,630円(税込)

■所要時間：約1時間半～2時間半（90分～150分）

■定 員：10名～40名

■開催場所：町内施設

■内 容：

①イントロダクション(30分)

- ・環境講話

②マイクロプラスチックについて(15分)

- ・マイクロプラスチックとは？何が問題なのか？

③ビーチクリーン活動(30分)

- ・実際に海岸での活動を行います。

④グループワーク(30分～)

- ・即行動実践づくりワークショップ
- ・問題解決の施策づくりワークショップ

■留意事項：

※ 事前事後学習として以下「マイクロプラスチックストーリー」をご活用下さい。

<https://www.microplasticstory.org/>

(海研吹き替え版制作協力)の観賞も組み合わせ可能

- 公立学校\$100(USD) 私立学校\$200(USD)

■関連するSDGsのゴール

- ・11.住み続けられるまちづくりを
- ・12.つくる責任つかう責任
- ・13.気候変動に具体的な対策を
- ・14.海の豊かさを守ろう

